

令和7年度 第5回江北町総合教育会議 議事録

- 1 日 時 令和7年8月8日（金）14：00～15：00
 2 場 所 公民館2階講座室
 3 出席者 下表のとおり

【構成員】

番号	役 職	氏 名
1	町長	山田 恭輔
2	教育長	吉田 功
3	教育委員	浪瀬 隆一
4	教育委員	重松 亜須香
5	教育委員	溝口 泰弘
6	教育委員	田中 薫

【こども教育課・学校づくり推進室】

番号	役 職	氏 名
1	課長（兼室長）	坂元 弘睦
2	課長代理	峯 清美
3	係長	金原 広和
4	主査	山口 香奈
5	主任指導主事	内川 梨恵子
6	専門員	牟田 久俊

【事務局：総務政策課】

番号	役 職	氏 名
1	副町長	山下 宗人
2	課長	山中 博代
3	課長代理	小野 政己
4	係長	大塚 健司
5	主事補	古賀 優梨愛

- 4 議 題 (1) 教育課題解決に向けた取組状況について
 (2) R 8 教育大綱改正について
-

○開会（山中課長）

○挨拶（山田町長）

- ・現在、子どもたちは夏休み真只中だが、熱中症等に注意して新学期には元気な姿を見せてほしい。熱中症対策については、これまで積極的に取り組んできたが、これほど熱いと今後は熱中症警戒アラートが出なくても十分な対応を行うこと、12時から17時までの魔の5時間の対応も留意が必要である。魔の5時間と言いつつも、子ども達をその時間に下校させていいものなのかと思い、冷感タオルの配布を行った。公私ともに冷感タオルをフル活用してほしい。体育館の空調も考えていかないといけない。この暑さになると、熱中症のリスクがあるから体育館で実施という事ができない。
- ・先日、イングリッシュキャンプが開催され、有意義な交流が図られているが、子どもの引率が一部不十分な点があった。事故防止の観点からも、十分な対応をお願いする。

議題 1. 教育課題解決に向けた取組状況について

—牟田専門員より学力向上に向けた取組状況について報告—

- (1) 英語検定受験対策による学習意欲喚起
 - ・第2回英語検定（10月）：小学生希望者と中学2・3年生全員受験
 - ・受験対策勉強会（8/2開催）、82名参加
 - ・合格が前提だが、勉強が楽しい等の学習意欲を引き出す
- (2) イングリッシュキャンプの実施（7/19実施）
 - ・参加者：小学生31名・ALT5名
 - ・英語を学ぶきっかけになった。引き続き英語を使う語学活動を充実させ、学校とも連携をしていく。
- (3) 小中合同英語指導法研修会実施報告（8/5実施）
 - ・講演「英語教育における小中連携について」
講師 西部教育事務所 管理主事 田中氏
 - ・英語の職員研修を小中合同で取り組んでいる市町は少ないと本町を高く評価された。
 - ・小学校で言語活動として「聞く・話す」中学校で文法事項を含めた言語

活動。言語活動に始まり言語活動で終わる。中学校の先生もどこまで教えたらいいか悩んでいる。

- ・小学生は単語を知っていても「5W1H」や文法を知らない。
- ・今回の研修会で小学生と中学生の住み分けについて理解が深まった。

(4) 江北町家庭学習のすすめ

- ・子どもたちに「考える力」「書く力」を身に付けてほしい
そのために家庭でどのような取り組みが必要なのかをまとめた「江北町 家庭学習のすすめ」を作成し、1学期中に家庭に配布済み。

【山田町長】

- ・英語力向上のために学習会を行っていることは、報道機関に出していいのではないかと。せっかく行っていることは知らせてわかってもらうことはとても大事なことです。
- ・中3で3級受験が少なく、5級受験者20名もいるが、内訳を評価し、本町の水準を知るためにも比較できるものがあることが望ましい。
- ・江北町の家庭学習の時間の統計データを管理してほしい。最終的には家庭学習の声掛けをして勉強するのではなく、自らが進んで勉強するようにしてほしい。

【牟田専門員】

- ・9月の総合教育会議では全国調査の結果を踏まえた数字の提供ができる。子ども達のほめるところを見つけて学習意欲を伸ばしていきたい。

【吉田教育長】

- ・学校運営協議会で、「読む力」「話す力」に力を入れてほしい。小学校は読み聞かせを行っているため、「読む力」が定着していないのではないかと。という意見があった。
- ・「江北町 家庭学習のすすめ」ということで家庭に配布をしているが、これで完結というわけではなく、修正をしていく。

【重松委員】

- ・「江北町 家庭学習のすすめ」の中に、意識して声掛けをしましょうと記載されているが、保護者としては具体的にどのような声掛けをしたらよいかを記してほしい。学期末の面談の時に直接先生の方から「江北町 家庭学習のすすめ」の紹介をしてもらった方が記憶に残る。

【山田町長】

・保護者の意識変容を促すことが、子ども達に対する行動変容につながる。目標を決め、実現するためには何をすればいいかという風に考えていかなければならない。「ほめる」ことから始めて行動を変えていく。

【浪瀬委員】

・「家庭学習での取り組み」「家庭学習のすすめ」親子一緒に読み聞かせて、一緒に考えることが必要。「配って終わり」にならないようにしてほしい。

—坂元課長より部活動の地域展開について報告—

部活動の地域展開に係る今後の方針について

① 部活動の現行維持

・現行部活動でやっていきながら、教職員の異動に伴う指導者不足を考慮し町雇用の外部指導員を確保していく。

② 地域クラブ化

・部活動にない種目を望む生徒たちの需要に対応するために地域クラブの認定を進めていく

・現部活動の種目も、指導者不足等に至った場合は地域クラブの認定を進めていく。

③ 拠点校方式・合同部活動

・江北中学校、大町ひじり学園で募集を継続しつつ、希望があった場合は両校で調整していく。

・小学校6年生にアンケート調査を行い、希望に応じて見学・体験会の実施

【山田町長】

・この1か月で部活の地域展開が進んでいるわけではない。町がして行っていないくても、地域が行っているところもあるとなると私たちの存在感がなくなる。

・各市町の部活動進捗状況は何かに記載されているものなのか。

【坂元課長】

・佐賀県の方でとりまとめをしているもの。

【山田町長】

・「地域クラブ化」「部活動中心」「拠点校方式」の3つに○が付いているのは、20市町で江北町だけであるが、過大報告ではないか。「地域クラブ化」についているのに、「部活動中心」にもついているがそれはどういうことか。

【坂元課長】

・各市町が取り組みを箇条書きにしたものを、江北町でまとめたもの。

【山田町長】

・教育委員会は取りまとめたときに江北町は3つ付けて良かったのか。

【坂元課長】

・中学校の方と協議をしたが、現在ない部活動もしたいという声もあり、それについて考えれば、地域クラブ化というのものもある。

【山田町長】

・部活動の地域展開に限れば今ある部活動の地域展開の話ではないのか。今江北町が行っているのは「拠点校方式」以外にあるのか。

【坂元課長】

・方針としては「地域クラブ化」「部活動中心」「拠点校方式」を考えないといけないという事でこの資料作りになった。

【山田町長】

・ほとんどの市町が「拠点校方式」に○が付いているのはどういうことか。江北町と大町町で行っていることは珍しいことではないのか。

【牟田専門員】

・武雄市などは、市内の学校で行っている。協定書を作成して行っているのは、江北町だけだが、市町で拠点校方式を行っているのは江北町だけではない。

【溝口委員】

・中体連の成績を見ていると、様々な競技の中に中学校の名前ではないチームもいる。拠点校方式や地域クラブで出場しており、それぞれ各市町が工夫しながら体制づくりをしてきている。数は少ないが、これから準備をしながらしていかなければならない。

【山田町長】

・江北町は「地域クラブ化」「部活動中心」「拠点校方式」の3つに○が付いていると、3つ出来るのかという不安がある。他の市町で3つ○が付いているところがないのに、江北町が3つできるのかという話。

【溝口委員】

- ・江北町から外部指導員の配置をしているクラブはあるのか。

【坂元課長】

- ・バスケットボールは外部指導員であるが、町から配置しているわけではない。

【溝口委員】

- ・自主的にされているという事なら、市町の部活動進捗状況にも当てはまらないのではないか。どちらかと言えば方向性・目標ではないか。

【田中委員】

- ・地域クラブ化、部活動中心、拠点校方式の方向性は、種目によって異なる。

【山田町長】

- ・江北町の部活動一覧を作成し、競技によって方向性を決めた資料を作成し、協議すればいいと思うが、先に進んで実績を積み重ねきれていないため、同じことを繰り返している。

【坂元課長】

- ・先月までの総合教育会議で基本的な考え方を決めていなかった。これからは各種目で整理し方針を決めていく。

【山田町長】

- ・音楽部などはいくつか拠点校方式で行っているところもある。大町町か江北町にある部活動を条件がそろえば拠点校方式にしていくという事は、すべての部活動を拠点校方式で行うと決めたことではない。陸上等の地域クラブで認定できそうなものもあり、拠点校方式も地域クラブ化も出来ない部活動に、外部指導員を導入し、部活動を維持していかなければならない。
- ・バスケットボールの外部指導員は町が雇っていないが外部指導員と言っていいのか。「各市町の部活動進捗状況」に記されている「外部指導員の配置」に含まれているが、これから町雇用の外部指導員を探していくのか。

【坂元課長】

- ・探していかなければならない。バスケットボールのようにボランティアでもしていいという方がいる。

【重松委員】

・指導員が足りていない部活動には町が雇用した外部指導員を配置するが、今ボランティアでバスケットボールを教えている方はそのままになるのか。

【坂元課長】

・そこも整理が必要。どこかの部活は町雇用でどこかの部活動はボランティアというようにはならない。

【山田町長】

・総合教育会議や定例教育委員会のための準備ではなく、ひと月ひと月でも前進し、成果を出してほしい。その結果や進捗状況をこの場で報告してほしい。

—教育支援センター「こあら」について—

【山田町長】

・長期休暇中に教育支援センターを開けるか開けないかで協議をし、開けることにした。試しに開いてもらったら1人だが来てくれている。たった1人だったが、開けて良かった。教育支援センターを開所して半年経つが、指導員の方がどのようなことを考えられているか総合教育会議で報告してもらってはどうか。

—施設老朽化対策について—

【坂元課長】

・6月補正予算で計上し、入札・契約済みである。今後の進捗については、星取表を作成し総合教育会議の中で進捗状況を報告する。

議題 2. R8 教育大綱改正について

—大塚係長より R8 教育大綱改正のスケジュールについて報告—

2025 年 11 月：第 4 次教育大綱（案）を総合教育会議内で協議

2025 年 12 月：総合教育会議内で最終協議

○閉会（山中課長）